



夏休み、どの本よもうかな？ (3、4年生)

いたずらおばあさん

たかどのほうこ さく ちばちかこ え フレーベル館 (J 913/夕)

ようふくけんきゅうか 洋服研究家のエラババ先生は 84歳。

長い年月をかけて、すばらしい服をはつめい 発明しました。それは1枚着ると、1歳わか 若くなる服でした。エラババ先生と弟子のヒョコルさんは、何枚もその服を着て、8歳の女の子に変身しました。



ふしぎなメリーゴーラウンド

リーザ=マリー・ブルーム/作 はたさわゆうこ/訳 こやまこいこ/絵 徳間書店 (J 943/フ)

7色の屋根のメリーゴーラウンドは、木ぼりの動物たちが、子どもを乗せて回ります。じつは、この動物たちは、えさをたべたり、話すことができるのです。ある日、女の子になでられた馬に、ふしぎなことがおこりました。



青空モーオー！ 牧場ですごした七日間

ほりごめかおる さく ポン マーシュ え がっけん 学研プラス (J 913/ホ)

「夏休みに、うちの牧場に来ない？」いとこにさそわれた4年生の陸は、たった1人で新幹線に乗り、牧場に向かいました。そこには、自然の中で暮らすあたたかい人や牛たちが待っていて…。ワクワク・ドキドキする7日間のお話。



かあちゃんのジャガイモばたけ

アニタ・ローベル/さく まつかわまゆみ/やく ひょうろんしゃ 評論社 (J 933/ロ)

ふたつの国が、せんそうをはじめました。国のあいだにある谷では、かあちゃんがジャガイモをそだてながら、ふたりのむすことくらしていました。むすこたちは、東と西にわかれ、たたくことに…。



へびと船長 フランス・バスクのむかしばなし

ふしみみさを/文 ポール・コックス/絵 B L 出版 (Eみんわーそら)

船をうしなった船長が、ある日、海辺にすむへびに話しかけられました。船長が言われたとおりに船をつくと、へびはくりかえし、たのみごとをするようになります。そしてそのたびに、びっくりするようなことがおこりました。



ぼくはうちゅうじん

なかがわ 中川ひろたか/ぶん はたこうしろう/絵 アリス館 (J 440/ナ)

お父さん、お母さんと、キャンプにきたぼく。空を見ながら、「お月さまも星なんだよ」と、お父さんがおしえてくれました。「ちきゅうもね」と、お母さんがいいました。「え？ちきゅうも？」ぼくは、びっくりしました。



海べをはしる人車鉄道 東海道線のいま、むかし

よこみぞえいいち ぶん え ふくいんかんしよてん 福音館書店 (J 686/ヨ)

今から約130年前、東京の新橋と神戸を結ぶ東海道本線が開通しました。ところが、箱根や熱海などの海ぞいの温泉地は、鉄道からとりのこされてしまったので、人が押して走る人車鉄道がつくられました。蒸気機関車が走っていた時代になぜ、人車鉄道をつくったのでしょうか。



うた時計 新美南吉童話選集3より

にいみなんきち さく たけだみほ え しゃ ポプラ社 (J 913/ニ/3)

2月のある日、野原の中の道を少年廉と1人の男が歩いていました。廉が男のオーバーのポケットに手を入れると、うた時計(オルゴール)が鳴り出しました。廉は、「よく行く薬屋にもうた時計があつて、薬屋のおじさんは、とても大切にしている」と言いました。

